

2015 年度大学院生の研究・生活実態に関するアンケート調査

全国大学院生協議会

2015 年度大学院生の研究・生活実態に関するアンケート調査

全国の大学院生の皆様

お忙しい中、本アンケート調査にご協力いただきありがとうございます。

1. 本アンケート調査の趣旨

本調査は、全国大学院生協議会(全院協)が行なう、全国の大学院生を対象としたアンケート調査です。大学院生の研究及び生活実態を客観的に把握し、もってその向上に資することを目的としております。

全院協は 2004 年度以来毎年アンケート調査を行ない、調査結果を『報告書』としてまとめ、文部科学省、財務省、国会議員および主要政党等に対して、学費値下げや奨学金の拡充などの要請を行なっております。また、これらの調査により明らかとなった大学院生の深刻な実態は、NHK や朝日新聞をはじめとした各種マスメディアでも取り上げられ、社会的に大きな反響を呼びました。

しかし、このように学費・奨学金等の重大な問題が存在するにも関わらず、大学院生の実態に関する全国的な調査は、全院協以外では行なわれておりません。より多くの方々に回答いただき、調査の精度を高め、問題を広く社会に発信していくことが求められております。ご協力いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2. 個人情報の保護

本アンケート調査で得られた情報は、以上に述べた目的以外に使用されることはありません。また、個人が特定される形で調査結果をまとめることはありません。回収された調査票は、調査結果がまとめられた段階で完全に廃棄されます。

3. 調査票への記入の仕方

- ・ 本調査票はこのページを含め、計 10 ページあります。
- ・ 設問はすべて該当番号の選択式となっています。該当する番号に○を記入して下さい。
- ・ 質問項目欄に複数回答可と、特に注意がある場合を除き、1 つだけ該当番号を選んで回答して下さい。
- ・ 自由記述欄を設けている質問項目については、何かあればできるだけ具体的に書いて下さい。
- ・ 本アンケートの回答にかかる所要時間は約 10 分です。よろしくお願いいたします。

2015 年 6 月 5 日 全国大学院生協議会

〒186-0004 東京都国立市中 2-1 一橋大学内院生自治会室気付

電話・FAX : 042-577-5679

E-mail:zeninkyo.jimu@gmail.com

全院協ブログ URL: <http://zeninkyo.blog.shinobi.jp>

1. 基本属性

所属大学院名		_____大学大学院（研究科など：_____）
1.1	性別	①男性・②女性・③その他・④回答の意思なし
1.2	年齢	①20～24歳・②25～29歳・③30～34歳・④35～39歳・⑤40歳以上
1.3	婚姻	①結婚していない・②結婚している・③事実婚
1.4	子どもの有無	①いる・②いない
1.5	所属機関	①国立大学法人・②公立大学(法人)・③私立大学・④その他の機関など
1.6	学系	①人文科学系・②社会科学系・③理・工・農学系・④医・歯・薬学系 ⑤専門職大学院・⑥その他()
1.7	学年 ※一貫性の場合是一般相当	①M1・②M2・③M3・OM(オーバーマスター)・④D1・⑤D2・⑥D3 ⑦OD・⑧PD・⑨研究生・聴講生・科目等履修生 ⑩その他()
1.8	社会人院生 ※本業の仕事を持っているか、 本業の仕事を退職した方が 該当します。	①社会人院生である・②社会人院生ではない
1.9	居住形態 複数回答可	①アパート・学生寮などで一人暮らし・②親、きょうだいなど同居 ③結婚しているなど、パートナーと同居・④友人など同居・⑤子、孫など同居 ⑥その他()
1.10	留学生	①(外国人)留学生である・②留学生ではない
※1.10で①と回答した方にお聞きします。		
1.10.1	あなたは出身国からの政府等派遣生ですか。国費留学生ですか。私費留学生ですか。	
①出身国からの政府等派遣生である・②国費留学生である・③私費留学生である		

2. 収入・支出について

一か月あたりの自身の収入と支出について、おおよその額を教えてください。

2.1 収入（一か月あたり）

2.1.1	収入総額 ※奨学金借入・学振 およびその他収入含む	①6万円未満・②9万円未満・③12万円未満・④15万円未満 ⑤18万円未満・⑥21万円未満・⑦21万円以上
2.1.2	奨学金受給・借入額 ※学振による給与や 授業料免除といった形で の奨学金は、含めないで 下さい。	①受給していない・②6万円未満・③9万円未満・④12万円未満 ⑤15万円未満・⑥18万円未満・⑦18万円以上
2.1.3	日本学術振興会 特別研究員	①受給していない・②DC1・③DC2・④PD・⑤RPD
2.1.4	TA収入	①TAをしていない・②1万円未満・③3万円未満・④5万円未満 ⑤9万円未満・⑥12万円未満・⑦15万円未満・⑧15万円以上
2.1.5	RA収入	①RAをしていない・②1万円未満・③3万円未満・④5万円未満 ⑤9万円未満・⑥12万円未満・⑦15万円未満・⑧15万円以上
2.1.6	TA、RA以外の学内の アルバイトでの収入	①していない、働いていない・②1万円未満・③3万円未満・④5万円未満 ⑤9万円未満・⑥12万円未満・⑦15万円未満・⑧15万円以上
2.1.7	学外の アルバイトでの収入	①していない、働いていない・②1万円未満・③3万円未満・④5万円未満 ⑤9万円未満・⑥12万円未満・⑦15万円未満・⑧15万円以上
2.1.8	非常勤講師収入	①非常勤講師をしていない・②1万円未満・③3万円未満・④5万円未満 ⑤9万円未満・⑥12万円未満・⑦15万円未満・⑧15万円以上
2.1.9	親などからの仕送り	①もらっていない・②1万円未満・③3万円未満・④5万円未満 ⑤9万円未満・⑥12万円未満・⑦15万円未満・⑧15万円以上

2.2 支出（一か月あたり）

2.2.1	支出総額	①6万円未満・②9万円未満・③12万円未満・④15万円未満 ⑤18万円未満・⑥21万円未満・⑦21万円以上
2.2.2	書籍費	①払っていない・②1万円未満・③2万円未満・④3万円未満 ⑤4万円未満・⑥5万円未満・⑦5万円以上
2.2.3	調査研究費	①払っていない・②1万円未満・③2万円未満・④3万円未満 ⑤4万円未満・⑥5万円未満・⑦5万円以上
2.2.4	その他研究に関する自己負担 ※学会などの年会費も月単位で計算 して下さい。	①払っていない・②1万円未満・③2万円未満・④3万円未満 ⑤4万円未満・⑥5万円未満・⑦5万円以上

3. 労働について

3.1 労働時間・研究時間

一週間あたりの、おおよその従事時間および準備時間の合計を教えてください。

3.1.1	TA	①働いていない・②5時間未満・③10時間未満・④15時間未満 ⑤20時間未満・⑥25時間未満・⑦25時間以上・⑧時間が決まっていない
3.1.2	RA	①働いていない・②5時間未満・③10時間未満・④15時間未満 ⑤20時間未満・⑥25時間未満・⑦25時間以上・⑧時間が決まっていない
3.1.3	TA、RA以外の学内の アルバイト	①働いていない・②5時間未満・③10時間未満・④15時間未満 ⑤20時間未満・⑥25時間未満・⑦25時間以上・⑧時間が決まっていない
3.1.4	学外でのアルバイト	①働いていない・②5時間未満・③10時間未満・④15時間未満 ⑤20時間未満・⑥25時間未満・⑦25時間以上・⑧時間が決まっていない
3.1.5	非常勤講師	①働いていない・②5時間未満・③10時間未満・④15時間未満 ⑤20時間未満・⑥25時間未満・⑦25時間以上・⑧時間が決まっていない
3.1.6	以上、労働時間の合計	①働いていない・②10時間未満・③20時間未満・④30時間未満 ⑤40時間未満・⑥50時間未満・⑦50時間以上・⑧時間が決まっていない
3.1.7	研究関連雑務 ※研究室、学会の雑務などが これにあたります。 ※賃金になるものは除きます。	①働いていない・②10時間未満・③20時間未満・④30時間未満 ⑤40時間未満・⑥50時間未満・⑦50時間以上・⑧時間が決まっていない
3.1.8	研究時間 ※ゼミや研究会を含みます。	①10時間未満・②20時間未満・③30時間未満 ④40時間未満・⑤50時間未満・⑥50時間以上

3.2 労働目的

3.2.1	TA・RA、その他学内でのアルバイトの目的を教えてください。 複数回答可
	①働いていない・②生活費・学費・研究費をまかなうため・③将来に備えた貯蓄のため・④指導教員などに頼まれたから ⑤自らの研究・教育キャリアのため・⑥その他()
3.2.2	学外でのアルバイトの目的を教えてください。 複数回答可
	①働いていない・②生活費・学費・研究費をまかなうため・③将来に備えた貯蓄のため・④指導教員などに頼まれたから ⑤自らの研究・教育キャリアのため・⑥その他()
3.2.3	非常勤講師の目的を教えてください。 複数回答可
	①働いていない・②生活費・学費・研究費をまかなうため・③将来に備えた貯蓄のため・④指導教員などに頼まれたから ⑤自らの研究・教育キャリアのため・⑥その他()
3.2.4	現在行なっている、もしくは過去に行なったことのある、TAなどの学内アルバイトの時給を教えてください。
	①知らない・覚えてない・時給で設定されていない・②800円未満・③800円～999円 ④1000円～1199円・⑤1200円～1399円・⑥1400円～1599円・⑦1600円以上

4. 授業料・研究・生活費について

4.1 授業料

4.1.1	一年当たりの支払っている授業料の額を教えてください。減免されている方は、 <u>減免後の額</u> を教えてください。 ※支払う額が未定の場合は、昨年一年間の額あるいは予定している額をお書き下さい。 参考：国立大学授業料標準額は年 535800 円
	①払っていない・②20万円未満・③40万円未満・④60万円未満 ⑤80万円未満・⑥100万円未満・⑦100万円以上・⑧分からない・不明
4.1.2	今年度授業料の減免申請をしましたか。またその結果を教えてください。
	①申請していない・②全額免除・③50%以上の減額・④50%未満の減額 ⑤申請したが免除・減額されていない・⑥申請したが結果待ちのため不明・未定・⑦減免・免除の制度がない

4.2 研究・生活にかかる諸費用

4.2.1	授業料をどのようにまかなっていますか。 複数回答可
	①授業料を支払っていない・②親・親戚の所得・③パートナーの所得・④奨学金・⑤学振・⑥TA・RA・⑦アルバイト ⑧自らの預貯金・⑨科研費・プロジェクト経費・⑩必要最低限の支出をまかなえておらず、継続が困難 ⑪給与(社会人院生のため)・⑫その他()
4.2.2	調査・研究費をどのようにまかなっていますか。 複数回答可
	①支払っていない・②親・親戚の所得・③パートナーの所得・④奨学金・⑤学振・⑥TA・RA・⑦アルバイト ⑧自らの預貯金・⑨科研費・プロジェクト経費・⑩必要最低限の支出をまかなえておらず、継続が困難 ⑪給与(社会人院生のため)・⑫その他()
4.2.3	生活にかかわる経費をどのようにまかなっていますか。 複数回答可
	①親・親戚の所得・②パートナーの所得・③奨学金・④学振・⑤TA・RA・⑥アルバイト ⑦自らの預貯金・⑧科研費・プロジェクト経費・⑨必要最低限の支出をまかなえておらず、継続が困難 ⑩給与(社会人院生のため)・⑪その他()

5. 奨学金について

5.1	<p>現在、およびこれまでの奨学金の受給状況を教えてください。</p> <p>※高校、大学学部なども合わせた、これまでの受給状況を教えてください。</p> <p>※授業料減免という形の奨学金や学振は、<u>奨学金に含まない</u>で下さい。</p>
<p>① 給付・貸与どちらも奨学金を利用したことがない ⇒ (5.1.1 へ)</p> <p>② 給付型の奨学金のみを利用したことがあり、奨学金返済の必要はない ⇒ (5.1.2 へ)</p> <p>③ 貸与型の奨学金を利用している・利用したことがあり、今後奨学金を返済する必要がある ⇒ (5.1.2～5.1.6 へ)</p>	
<p>※5.1 で①と回答した方にお聞きます。</p>	
5.1.1	<p>奨学金を利用しない理由を教えてください。複数回答可</p> <p>①利用する必要が無いため・学振取得中のため ・ ②所得規定など申請資格を満たしていないため</p> <p>③返済に不安があるため ・ ④申請したが、採用されなかったため</p> <p>⑤手続きが煩雑で申請に間に合わなかったため ・ ⑥制度を知らなかったため</p> <p>⑦その他()</p>
<p>※5.1 で②、③と回答した方にお聞きます。</p>	
5.1.2	<p>利用している(したことがある)奨学金の種類を教えてください。複数回答可</p> <p>①日本学生支援機構(旧日本育英会)の奨学金 ・ ②民間の給付型奨学金 ・ ③民間の貸与型奨学金</p> <p>④学内の給付型奨学金 ・ ⑤学内の貸与型奨学金 ・ ⑥国費留学生 ・ ⑦私費留学生学習奨励費</p> <p>⑧その他()</p>
<p>※5.1 で③と回答した方にお聞きます。</p>	
5.1.3	<p>奨学金を借りた理由は何ですか。当てはまるものを教えてください。複数回答可</p> <p>①経済状態が悪いため ・ ②研究時間を確保するため ・ ③研究費の足しにするため ・ ④アルバイトを減らすため</p> <p>⑤一人暮らしをするため ・ ⑥その他()</p>
<p>※5.1 で③と回答した方にお聞きます。</p>	
5.1.4	<p>奨学金の返還への不安はありますか。</p> <p>①かなりある ・ ②多少ある ・ ③あまりない ・ ④まったくない</p>
<p>※5.1 で③と回答した方にお聞きます。</p>	
5.1.5	<p>貸与型奨学金の借入額を教えてください。</p> <p>(第一種奨学金、第二種奨学金、その他の貸与型奨学金の<u>これまでの総額</u>を教えてください。)</p> <p>①100万円未満 ・ ②200万円未満 ・ ③300万円未満 ・ ④400万円未満 ・ ⑤500万円未満 ・ ⑥600万円未満</p> <p>⑦700万円未満 ・ ⑧800万円未満 ・ ⑨900万円未満 ・ ⑩1000万円未満 ・ ⑪1000万円以上</p>
<p>※5.1 で③と回答した方にお聞きます。</p>	
5.1.6	<p>貸与型奨学金のうち、日本学生支援機構第二種奨学金(有利子)の借入総額を教えてください。</p> <p>①第二種の奨学金は利用していない</p> <p>②100万円未満 ・ ③200万円未満 ・ ④300万円未満 ・ ⑤400万円未満 ・ ⑥500万円未満 ・ ⑦600万円未満</p> <p>⑧700万円未満 ・ ⑨800万円未満 ・ ⑩900万円未満 ・ ⑪1000万円未満 ・ ⑫1000万円以上</p>

5.2	日本学生支援機構の個人情報情報機関利用(いわゆるブラックリスト化)といった、返還金回収促進策を知っていますか。知っている場合、奨学金を利用・申請する上で影響はありましたか。 複数回答可
	①知らない・②奨学金の借入を諦めた・③進学を諦めた・④奨学金の借入額を下げた・⑤将来の不安が増した ⑥民間の奨学金に変更した・⑦影響はない・⑧その他()
5.3	過去一年間に、日本学術振興会特別研究員制度に応募しましたか。また、応募しなかった場合、その理由を教えてください。 複数回答可
	①応募した・②制度自体を知らなかったため・③採用されないと思ったため ④書類作成が煩雑で時間が取られるため・⑤年齢制限を超えているため・⑥現在修士課程一年次に在籍のため ⑦その他()

6. 研究条件に対する意識

6.1	収入の不足や学費の支出が <u>研究</u> に影響を与えていますか。もし与えている場合、具体的にどのような影響が出ていますか。 複数回答可
	①影響はない・②アルバイトやTAなどをしなくてはならない・③授業料が払えない・滞納したことがある ④研究の資料・書籍を購入できない・⑤パソコン・インターネット環境を整備できない・⑥学会・研究会に行けない ⑦調査・フィールドワークに行けない・⑧その他()
6.2	収入の不足や学費の支出が <u>生活</u> に影響を与えていますか。もし与えている場合、具体的にどのような影響が出ていますか。 複数回答可
	①影響はない・②食費など生活費を削っている・③自分やきょうだい大学や大学院への進学を諦めた ④家族や親に負担をかけることに負い目がある・⑤その他()
6.3	研究時間は十分に確保できていますか。もし確保できていない場合その要因を教えてください。 複数回答可
	①研究時間は確保できている・②アルバイト・③授業や研究会の多さ ④種々の雑務・⑤就職活動・⑥非常勤講師・TA・RA・⑦家事・育児・介護・⑧心身の不調 ⑨その他()
6.4	研究環境に不満はありますか。もし不満がある場合、具体的にどの点に不満がありますか。 複数回答可
	①不満はない・②学内の研究スペース不十分(本棚、研究室、机、ロッカーなど)・③研究・実験器具が不十分 ④図書館・教室など、学内施設が利用しにくい・⑤PC・ネット環境の不備・⑥必要な資料・書籍が学内に少ない ⑦コピーカードの利用可能額が少ない、コピー機が利用しにくい・⑧指導教官、研究室内の人間関係 ⑨その他()

6.5	成果主義・業績主義的な風潮などからくる自身の将来に対する精神的負担・不安を感じていますか。
①強く感じる ・ ②多少感じている ・ ③あまり感じていない ・ ④ほとんど感じない	
※6.5 で①・②と回答した方にお聞きします。	
6.5.1	成果主義・業績主義的な風潮について、具体的にどの点に負担感を感じていますか。当てはまるものを教えて下さい。 複数回答可
①論文を量産することへのプレッシャーがある ・ ②学振や RA などに採用されないと生活が厳しい ③指導教員が書類作成などで多忙になり、コミュニケーションが減った ④その他()	
6.6	大学院での研究・生活上および将来への懸念・不安を教えてください。 複数回答可
①生活費・研究費の工面 ・ ②授業料の工面 ・ ③研究の見通し ・ ④研究条件の悪化 ・ ⑤奨学金の返済 ⑥就職状況 ・ ⑦人間関係(ハラスメント) ・ ⑧失業・雇止め ・ ⑨人生設計(結婚・出産・育児など) ⑩言語・コミュニケーションの問題(留学生であるため) ・ ⑪特になし ・ ⑫その他()	

7. 大学院生活の不安材料

7.1	※修士課程在籍の方にお伺いします。 修士課程修了後の、博士課程への進学を考えていますか。
① 進学を考えている ⇒ (7.1.1 へ) ② 検討中・未定 ⇒ (7.1.1 へ) ③ 進学を考えていない ⇒ (7.1.2 へ)	
※7.1 で①、②と回答した方にお聞きします。	
7.1.1	博士課程への進学を検討する上での懸念材料を教えてください。 複数回答可
①経済上の不安 ・ ②就職の不安定さ・ ③研究の見通し ・ ④ハラスメントなど、人間関係 ・ ⑤結婚・出産・育児 ⑥就職していないことに対する後ろめたさ ・ ⑦特になし ・ ⑧その他()	
※7.1 で③と回答した方にお聞きします。	
7.1.2	博士課程へ進学しないと決めた理由を教えてください。 複数回答可
①経済上の不安 ・ ②就職の不安定さ・ ③研究の見通し ・ ④ハラスメントなど、人間関係 ・ ⑤結婚・出産・育児 ⑥修士課程で満足した ・ ⑦その他()	

7.2 大学院修了後の希望進路を教えてください。

- ①修士卒で民間企業、公務員などに就職 ・ ②修士卒後で専門職に就職
- ③博士卒で研究職(大学のアカデミックポストなど) ・ ④博士卒で企業就職・公務員 ・ ⑤専門職大学院卒で就職
- ⑥社会人院生のため、企業などで引き続き勤務する ・ ⑦未定
- ⑧その他()

7.3 就職活動に不安や不満はありますか。

- ① 不安や不満がある⇒ (7.3.1 へ)
- ② 不安や不満はない
- ③ わからない
- ④ 就職活動する必要がある(社会人院生のため、定年退職後のためなど)

※7.3 で①と回答した方にお聞きします。

7.3.1 具体的に、どういった点に不安や不満を覚えますか。 **複数回答可**

- ① 勉学や研究との両立が困難 ・ ②自分の目指す方向へのセミナーや相談員がない ・ ③正規職につけるか不安だ
- ④就職活動における交通・宿泊費等の負担が大きい ・ ⑤希望する就職枠が少ない
- ⑥自分の専門分野では就職しにくい ・ ⑦奨学金返済のための十分な給与が得られるか不安だ
- ⑧その他()

7.4 必要な育児支援は、大学院で行われていますか。

- ① 育児支援は満足に行われている
- ② 育児支援は満足に行われていない⇒ (7.4.1 へ)
- ③ わからない
- ④ 自分には必要ない

※7.4 で②と回答した方にお聞きします。

7.4.1 具体的に、どういった点に不満を覚えますか。 **複数回答可**

- ①託児所や保育所といった一時保育サービス ・ ②育児休学といった制度 ・ ③ベビーベッドといった施設設備
- ④出産、育児などの前提となる経済的支援 ・ ⑤その他()

8. その他

8.1	このアンケートを 何で知りましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ①大学の院生協議会や院生自治会、院生会 ・ ②知り合いや友人 ③全国大学院生協議会の HP や twitter ・ ④学会、教職員 ⑤その他()
-----	-----------------------	---

9. 自由記述

最後に、現在あなたが直面している研究・生活上の問題や、院生の経済状況に関するご意見、あるいは奨学金事業を含む教育行政へのご要望などを、自由に書いて下さい。直面している問題があれば、できるだけ具体的に教えて下さい。なお、本アンケートに関しても、ご意見があれば教えて下さい。

10. 連絡先（任意）

全国大学院生協議会の活動に興味がありましたら、以下に連絡先のメールアドレスを教えてください。本アンケートの報告冊子、広報誌などをお送りします。

以上でアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

なお、アンケート結果につきましては、11月頃までに報告書としてまとめられます。

アンケート報告書はブログにアップロードされる予定です。

2015年 全国大学院生協議会
〒186-0004 東京都国立市中 2-1 一橋大学内院生自治会室気付
電話・FAX : 042-577-5679
E-mail:zeninkyo.jimu@gmail.com
全院協ブログURL: <http://zeninkyo.blog.shinobi.jp/>